

選挙ねえ……。誰に投票したらいいか、よく分からないし。

議員って、議会のない日は何をしているの？

そうなんです。

「民主主義社会」と言っても、一人ひとりの声が政治に届いている実感は、ほとんどありません。

「嘘つきの代名詞が、政治家!？」

ちょっと言い過ぎかもしれませんが、私たちの中には政治家に対する不信感があり、政治への期待感も、関心も薄れています。

しかし……

私たちが政治から遠のけば遠のくほど、政治が一部の人のものになり、私たちの願いとは異なる社会のしくみ(法律や制度)が作られていきます。

それに反対する小さな声はかき消されていきます。

これじゃ、まずい。

みんなが考え、意見を出し合い、互いを尊重しながら、物事を決めていく、民主主義の原点に戻らないと。

それには、「政治」を毛嫌いするのではなく、市民感覚に合った「政治」を取り戻すことが必要です。

「辻よし子と歩む会」は、政治のプロではありません。

政党とも関係ありません。

「みんなが大切にされる社会を、みんなで作っていくにはどうすればいいのだろう……」と足元のあきる野市政から考えている市民の集まりです。



一緒に動いて  
みませんか?  
お待ちしております!



共同代表  
岩田純子

「辻よし子と歩む会」 会員募集中!

年会費 1,000円(カンパ歓迎!)

郵便振替

加入者名 辻よし子と歩む会

口座番号 00140-9-430053

ゆうちょ銀行(店番)〇一九(ゼロイチキユウ)  
店(019) 当座 0430053

# 辻よし子と歩む会

「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・岩田純子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず、コツコツと手作りの政治を!

## 市議選は次点でしたが、今も元気に活動中です!

昨年6月の市議選では、政党や組織と関わりなく、地縁、血縁とも無関係に、普通の市民として選挙に臨みました。

その中で得た1,012票。惜しくも次点で議員になることはできませんでしたが、1票1票に込められた重みは、変わることはありません。1,012票を無駄にしないためにも、「小さな声がつながる手作りの市政」を目指して、選挙後も積極的に活動を続けています。これまでの活動を報告します。



HPをリニューアルしました!

「辻よし子と歩む会」で検索

Facebookでつながってください!



### 辻よし子・プロフィール

1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2013年、市議選に立候補、惜しくも次点。現在、夫、高2・中1の息子と草花に暮らす。(「くさしぎ・草の根市議と市政を考える会」共同代表、「川原で遊ぼう会」代表、「NPO法人・ちくりん舎」副理事、あきる野市環境委員会委員、あきる野市自然環境調査部会委員、平井川流域連絡会委員)

「こんな社会だったらいいな」って本気で願うことから、政治参加の一步が始まる……要は、人任せにしないってことだよな。

日本は、男女平等社会としては後進国。せめて女性の議員を3割に。きつとそれだけでも世の中は大きく動くよ！

### フクシマの子ども支援



昨年9月の市議会に、「くさしぎ・草の根市議と市政を考える会」と「チャイアのネット」\*で「原発事故子ども被災者支援法」の早期実現を求めるための陳情を出しました。全国のいろいろな市議会と同じ趣旨の陳情が採択されているのですが、あきる野市では残念ながら採択されませんでした。国や司法に任せておけばいいという事なかれ主義。今や支援法は骨抜きにされ、原発事故被災地の子どもたちは十分な支援がないまま置き去りにされています。

\*「チャイアのネット」は、子どもたちを被ばくから守るために、あきる野市内のお母さんたちを中心に作られたグループで、辻よし子は発起人の一人。「チャイアのネット」では、現在、原発事故被災者の子どもたちが内部被ばくの検査を受けられるように、支援活動を続けています。

### 小さいもの、弱いものが大切にされる町・あきる野を！

●市内に住む性同一性障害\*の当事者Iさんからの訴えを受け、市の各種申請書について不必要な性別記載を削除できないか、市の担当課と話し合いました。その結果、関連する書類400通余りを各課で見直し、約200通の書類から「男・女」の記載欄が削除されることになりました。

(\*持って生まれた性と自分の性に対する意識が一致しない状態)

●自分の性に多くの人とは違った感覚を持つ子どもたち(性的マイノリティ)は、30人に1人の割合でいると言われます。しかし、そうした子どもたちの多くが差別を受け、「自分がおかしいのかな」と悩んでいます。この問題については、まず、学校の先生たちの理解が大切。そこで、「GID西多摩」\*と連名で、市内の先生たちが当事者の話を聞く場を作って欲しいと教育委員会に要請書を出しました。(\*性同一性障害の問題に取り組む市民グループ)

その結果、養護教諭を中心に当事者の話を聞く研修会を検討してもらえることになりました。また、当事者が学校に出向いて話す用意のあることを、校長会で伝えてくれることになりました。

### あきる野の豊かな自然を次世代に

崖崩れから住宅や道路を守るための工事は必要です。しかし、自然環境に大きな影響を与えるため、どの箇所の工事が必要なのか、どんな工法が最適なのか、慎重に吟味しなければなりません。深沢川(通称、三内川)の砂防工事では、十分な調査がされないまま世界に数千羽しかないミソゴイの繁殖地が失われてしまいました。そこで、来年度以降計画されている上流の工事については、専門家を交えて十分な検討をするよう陳情を出しましたが、陳情の意図が正しく理解されず不採択になりました。しかし、陳情をきっかけに、工事報告会が開かれ、行政、地元住民、私たちの間で話し合うことができました。今後は、専門家も交えた検討会を開くよう交渉中です。



### 平和な社会を守るために

●安倍内閣が発足してから、秘密保護法の強行採決、武器輸出三原則の変更、集団的自衛権行使の閣議決定など、民意を無視した独裁的な政治がおこなわれています。このままでは平和憲法が骨抜きにされます。

●ここ数年、横田基地の騒音がひどく、さらに攻撃型オスプレイを横田基地に配備する話が持ち上がっています。

「辻よし子と歩む会」では、こうした国政の問題についても、街頭演説や通信を通じて、「おかしいものは、おかしい」と声をあげています。

### 政治を身近なものに！

「政治的」という言葉にはどこかマイナスのイメージがあり、「関わりたくない」と思ってしまうがち。でも、そうやって市民が政治から遠ざかってきた結果、民主的社会とは言えない、さまざまな問題が起きています。私たちは、身近な市政について学ぶ学習会を開いています。

